

令和3年度 さいたま市立栄小学校 自己評価書

校長 赤木 伸年 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

目指す学校像「あした・希望・未来へ羽ばたく学校」「みんなで知恵を出し合い創りあげる学校」、目指す児童像「健康でたくましい子・進んでかかわる子・思いやりのある子」とし、本年度の重点を次のように設定して取り組んできた。

- (1) 日々の教育活動の充実・児童や教職員の心身の健康や安全、安心に留意した教育活動を計画・推進【教育課程】【学校安全】
- (2) 教育課程の創意工夫と適切な管理・各教科の基礎基本の習得・G・S、特別な教科「道徳」、プログラミング教育授業の充実【学習指導】
- (3) 学校課題研修（算数）を通して教師としての資質と指導力の向上・児童の確かな学力の定着【研修】
- (4) 運動の奨励と、児童の健康増進と体力の維持・向上【教育課程】【健康教育】
- (5) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実・交流教育の創意工夫【特別支援教育】
- (6) 積極的な生徒指導、いじめ問題等に係る対応の充実、迅速かつ組織的な体制づくり【教育相談】【生徒指導】
- (7) 安心・安全な学校給食の提供【学校給食】

2 評価結果について（12月実施 児童・保護者・教職員アンケートより）

(1) についてのア：児童・イ：保護者の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

- ア：「自分は楽しく学校生活を送っている。」94.3%
ア：「自分は友達と仲良く生活している。」95.8%
イ：「子どもは楽しく学校生活を送っている」93.8%
イ：「子どもは友達と仲よく生活している」94.3%

(2) についてのア：児童・イ：保護者の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

- ア：「自分は意欲的に学習に取り組んでいる。」88.1%
ア：「自分は学習した内容を理解している。」90.5%
ア：「自分お進んで家庭学習を行っている。」82.2%
ア：「先生たちの授業は分かりやすい。」95.5%
イ：「子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。」78.5%
イ：「子どもは学習した内容を理解している。」82.6%
イ：「子どもは進んで家庭学習を行っている。」54.9%
イ：「教職員の授業は、子どもにとって分かりやすい。」88.1%

(3) についての教職員の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

「研修を通して、指導力の向上が図られている。」91.3%

(4) についてのア：児童・イ：保護者の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

- ア：「自分は、元気に運動している。」92.1%
イ：「子どもは、元気に運動している。」85.8%

(5) についての教職員の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

「サポート委員会の計画的な運営や校内研修の実施等、校内支援体制が適切に整備されている」87.0%
「特別支援学校や学級との児童の交流及び共同学習が適切に行われている。」73.0%

(6) についてのア：児童・イ：保護者の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

- ア：「先生は、自分のよさを見つけ、のびそうとしている。」88.9%
ア：「先生たちは、悩んだ時や困った時に、話を聞いてくれる。」93.0%
イ：「教職員は、子どものよさを見つけ、伸ばそうとしている。」84.5%
イ：「子どもたちの悩んだ時や困った時に、教職員は話を聞いている。」82.6%
イ：「子どものことについて連絡・相談したことに適切に対応している。」86.0%

(7) についてのア：児童・イ：保護者の好意的評価の割合（そう思う、だいたいそう思うの割合の合計）

- ア：「自分は、給食を楽しみにしている。」90.1%
イ：「子どもは、給食を楽しみにしている。」93.8%

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) 個々と学年での教材研究の時間を確保し、学習指導の工夫改善を行い、できた喜びを多く味わわせるとともに、適用問題に取り組む時間を確保し、学習内容の確実な定着を図るようにする。さらに、今年度作成した「家庭学習の手引き」を家庭とともに活用し、家庭学習にも日々取り組めるようにし、学力向上の一助としていく。
- (2) 木曜日の日課を見直し、清掃を止め、昼休みとし、外遊びができる時間を確保した。また、体育科の授業の工夫改善を行い、運動量を確保したり、体を動かす楽しさ味わわせたりする。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえ、他校の事例を参考にしながら、特別支援学級の担任と相談し個々のニーズに合わせた交流や共同学習を進められるようにする。

保護者や地域の方々との御理解と御協力のもと、今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を行い、教育活動を進めていく。日々の振り返りと、児童や保護者の方々からの御意見や御要望を生かし、さいたま市GIGAスクール構想に基づきタブレット端末を活用した新しい学びを進めるとともに、校内研修を通しての指導力の向上や学力の定着を図る取組、児童の心のサポート、個々の教育的ニーズに応える指導ができるよう、工夫改善の歩みを止めず、児童の願いと保護者の願いに応えるため、一層研鑽に励む。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。